

福岡女子短期大学学長

古市 恵美子 さん



私にとって太宰府の思い出はやはり幼いころから初詣や受験の度に訪れていた太宰府天満宮です。その太宰府天満宮の近く、風早の丘に福岡女子短期大学は昭和41年に開学し、昭和、平成、令和と50年以上女子教育に携わってきました。現在は、健康栄養学科、音楽科、文化教養学科、子ども学科の4学科から構成されています。風早の丘のキャンパスからは、太宰府天満宮周囲の森や九州国立博物館の青い屋根が見えます。また、霊峰宝満山を仰ぎ見ることができます。本学は、太宰府天満宮、観世音寺、戒壇院、大宰府政庁跡などの史跡や九州国立博物館が徒歩圏内という素晴らしい教育環境にあります。地元との結びつきも強く、太宰府市社会福祉協議会や教育委員会と包括協定を締結し、ボランティア活動や地元の小中学校との交流を行っています。最近校舎のリニューアルを終えた音楽科には、演奏ホール（風早ホール）が加わりました。お披露目を兼ねた演奏会を6月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。音楽科は九州国立博物館でカフェコンサートを開催していますので、新型コロナウイルスが収束し皆さまに学生の演奏をお届けできることを願っております。

特集

- 私のだざいふ、日本遺産広域型認定2
- 市政ニュース3
- 新型コロナウイルス関連4~5
- 6月議会市長冒頭あいさつ6~7
- 人権作品を募集します
〈社会教育課〉8
- マイナポイントが始まります
〈経営企画課〉9
- ロタウイルスワクチン定期予防接種
〈元気づくり課〉10
- 市からのお知らせ11~15
- 連載16~23
- なんでも情報コーナー24~31
- 太宰府の文化財
〈文化財課〉32

日本遺産「古代日本の「西の都」」は、 広域型(シリアル型)となりました！

平成27年度に認定された日本遺産「古代日本の『西の都』～東アジアとの交流拠点～」は、これまで本市単独型でしたが、このたび広域型(シリアル型)の認定を受けました。

昨年本市が新元号令和発祥の都となりその歴史や文化が改めて注目され、また、その舞台である大宰府跡・水城跡は、来年3月に国史跡指定100年を迎えます。これらで構成される日本遺産を、更に広い「大太宰府」的な観点で捉えることで、よりその価値を高めることができると考え、国に変更認定の申請を行ったものです。

広域化に伴い、太宰府市外に所在する大宰府に関わる史跡や前代から続く交流を説明する文化財を追加し、構成文化財は30件となります。また、歴史的地理的文化的に関係が深い筑紫野市、春日市、大野城市、那珂川市、宇美町、佐賀県基山町が新たに加わり、そして福岡県が代表となります。

本市は、今後も築き育ててきた日本遺産の原点を忘れることなく大切に、関係団体と連携を図りながら、相互発展が図れるよう取り組んでまいります。

詳しくは、太宰府市のホームページをご覧ください。

🌐 <https://www.city.dazaifu.lg.jp/bunkazai/info/17378.html>

